

尿路結石症の外科的治療

井上 貴昭, 岡田 真介, 濱本 周造 著

＜書評者＞ 三浦 浩康 (はちのへ江陽クリニック院長)

国内で年間8万人以上が手術を受ける上部尿路結石症であるが、これまで時代にあった本当にわかりやすい外科的治療のための教科書といえるものはなかった。尿路結石症ガイドラインや文献を眺め、または近くにいる先輩の意見を聞きながら不安の中で治療に当たってきたというのが本音であろう。朗報である。この度本邦を代表する3名のエキスパートのTips & Tricks 全部が書かれた本書『尿路結石症の外科的治療』が刊行された。長年の経験からしか知り得ない誰も教えてくれなかった知識がこの一冊に濃縮された、これぞ待望の必読必携の教科書である。

本書は第I部 上部尿路結石外科的治療の基礎知識、第II部 上部尿路結石外科的治療の実際、第III部 Case Discussion の3部構成となっている。第I部においては用語解説から外科的治療の歴史変遷、治療機器やデバイスが写真や表でわかりやすく解説されており、さらに結石治療ガイドラインをベースにエキスパート視点からの治療戦略、術前の合併症予防対

策にまで詳細に触れている。第II部ではSWL, URS, PCNL/ECIRS, 腎・尿管切石術の4項目に分かれている。それぞれにおいて手術体位、準備、機器の設定、治療手技、デバイスの使い方などを多くのイラストや写真を使用し詳細に解説している。第III部は特に本書の魅力である。ベテランでも難渋する15例の実際の手術と臨床経過を提示し、手術手技やコツ、そして注意点、トラブルシューティングなど手の内を隠すことなく詳述され、さらに合併症予防対策などもしっかりと盛り込まれている。これを知ればもう結石治療で迷うことはない。

さて意欲溢れる諸氏であればどんな症例でも難なく治療するエキスパートになることをめざすであろう。しかしながら、多くの手術を行うことと合併症を来すこととは表裏一体である。もちろん合併症という苦い経験を昇華していくことがエキスパートへの道ではあるが、その程度によっては問題となり得る。しかしこの書があれば心配はいらない。できる限り合併

症を来さない、または最小限に抑える知識、そして有事の際の解決策が明瞭に記載されているからである。

本邦を代表するエキスパートが書かれた本書は、若手、ベテラン、職種を問わず尿路結石治療に携わるすべての方々に役立つ必読の教科書であり、全国すべての泌尿器科医を結石治療のエキスパートへと導く必携のバイブルである。ぜひご覧いただきたいと思う。

さらには、今後時代とともに治療機器やデバイスが進化を続け、未来のエキスパートによる改訂版が発刊され、末永く愛読される書として継続されることを願ってやまない。

最後にこのような優れた書籍を発刊された井上貴昭先生、岡田真介先生、濱本周造先生のご努力に敬意を表したい。

● A4 頁168 2024年10月
定価: 14,300 円
(本体 13,000 円+税 10%)
[ISBN978-4-260-05440-9]
医学書院刊